

スポーツ施設のあり方 (検討資料)

地域振興部
スポーツ課

目次

I 現状

(1)背景	1
(2)施設老朽化の現状	2
(3)津山市全体の現状	3
(4)用途別の現状	4
(5)津山地域の現状	5
(6)加茂地域の現状	7
(7)阿波地域の現状	8
(8)勝北地域の現状	9
(9)久米地域の現状	10

II 課題	11
-------	----

III スポーツ施設のあり方

(1)基本的な考え方	12
(2)津山地域(中央公園)	15
(2)津山地域(スポーツセンター)	16
(2)津山地域(その他)	17
(3)加茂地域	18
(4)阿波地域	20
(5)勝北地域	21
(6)久米地域	23

I 現状

(1) 背景

本市では津山市第5次総合計画（平成28年3月策定）及び津山市教育振興基本計画（第2期）（平成29年3月策定）において、「生涯スポーツの振興」「スポーツ環境の整備」「競技力の向上」の3つの基本政策を掲げ、『参加するスポーツ』『見るスポーツ』『ささえるスポーツ』を総合的に推進することとし、平成30年3月に「津山市スポーツ推進基本計画(第2期)」(以下、推進計画という)を策定し、市民の皆様が安心・安全なスポーツ環境を提供しています。

しかし、市内のスポーツ施設は、合併前の旧市町村体制において、それぞれの施策により設置されているため、類似施設が多くあり、また、その多くが一気に老朽化しており、**全ての施設を今までと同じように維持・管理するには、老朽化のスピードに修繕等が追いついていない状況にあります。**

少子高齢化・人口減少などで利用者が減少する中、今までのように「誰もが生涯にわたり、いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツに取り組むことのできる」といった従来の考え方ではスポーツ施設の運営ができない時代がそこまで来ており、「スポーツ施設のあり方」について早急に議論をすることが必要だと考えております。

この「スポーツ施設のあり方」では2050年を想定のもと、**各地域のスポーツの特色を考慮し、地域ごとの利用状況・老朽化に応じて今後のあり方を検討します。**

R4津山市人口：98,185人 2050将来展望人口：77,152人（出典：津山市まち・ひと・しごと創生総合）

津山地区：R4人口81,898人 2050年予想人口 64,354人

加茂地区：R4人口 3,760人 2050年予想人口 2,954人

阿波地区：R4人口 439人 2050年予想人口 345人

勝北地区：R4人口 5,859人 2050年予想人口 4,604人

久米地区：R4人口 6,229人 2050年予想人口 4,895人

※R4の各地域の人口は津山市のオープンデータを利用して算出

※2050の各地域の予想人口はR4の各地域の人口比率によって算出



(2) 施設老朽化の現状

スポーツ施設の老朽化を比較するため、「築年数」が大きいものから順に並べ替えております。

築40年以上

津山地域のもものが多く、野球場、小野球場、テニスコート、総合体育館や中央グラウンド等が該当します。
加茂地域では体育館やプールが該当します。

築30年～築39年

勝北地区のもものが多く、野球場、多目的広場、テニスコート、プール、ゲートボール場等が該当します。
加茂地域では屋内ゲートボール場、総合グラウンドが該当します。
久米地域では体育館、テニスコートなどが該当します。
阿波地域ではふるさとふれあい会館が該当します。

築20年～築29年

津山地域では陸上競技場や西部公園が該当します。
久米地域ではプールが該当します。
加茂地域では体操練習場が該当します。

今後、大規模な改修が必要となる施設が多くあります。



築年数	No.	施設名	所在地	建築年度	耐用年数(想定)
築40年以上	1	津山 スポーツセンター 野球場	勝部20-2	1970(昭和45年)	なし
	2	津山 スポーツセンター サッカー・ラグビー場	勝部20-2	1970(昭和45年)	H26人工芝10
	3	津山 スポーツセンター 小野球場	勝部20-2	1972(昭和47年)	なし
	4	津山 スポーツセンター テニスコート	勝部20-2	1972(昭和47年)	R2人工芝10
	5	津山 総合体育館	山北669	1976(昭和51年)	47
	6	津山 東部公園グラウンド	川崎1610	1976(昭和51年)	なし
	7	阿波 グラウンド	阿波3303	1976(昭和51年)	なし
	8	津山 衆楽公園 中央公園グラウンド	山北669	1978(昭和53年)	なし
	9	加茂 スポーツセンター ソフトボール場	加茂町中原478-2	1980(昭和55年)	照明施設30
	10	加茂 スポーツセンター テニス場	加茂町中原478-2	1980(昭和55年)	なし
	11	加茂 武道館	加茂町桑原280	1981(昭和56年)	60
	12	津山 西部小体育館	院庄1242-6	1983(昭和58年)	50
	13	津山 草加部グラウンド	草加部1144-8	1983(昭和58年)	なし
	14	加茂 スポーツセンター B&Gプール	加茂町中原478-2	1983(昭和58年)	60
	15	加茂 スポーツセンター B&G体育館	加茂町中原478-2	1983(昭和58年)	60
築30年～39年	16	津山 東部小体育館	草加部1186-1	1985(昭和60年)	50
	17	久米 総合文化運動公園 多目的グラウンド	中北下1271	1988(昭和63年)	照明施設30
	18	津山 東体育館	林田1200-2	1989(昭和64年)	47
	19	加茂 スポーツセンター 屋内ゲートボール場	加茂町中原478-2	1990(平成2年)	30
	20	加茂 スポーツセンター 総合グラウンド	加茂町中原478-2	1991(平成3年)	なし
	21	勝北 スポーツ公園 野球場	西下1100-1	1991(平成3年)	50
	22	勝北 スポーツ公園 多目的広場	西下1100-1	1991(平成3年)	照明施設30
	23	勝北 スポーツ公園 テニス場	西下1100-1	1991(平成3年)	クレイ20
	24	勝北 スポーツ公園 プール	西下1100-1	1991(平成3年)	プール25 管理棟50
	25	勝北 スポーツ公園 ゲートボール場	西下1100-1	1991(平成3年)	なし
	26	久米 総合文化運動公園 体育館	中北下1271	1991(平成3年)	50
	27	久米 総合文化運動公園 テニス場	中北下1271	1991(平成3年)	クレイ20
	28	津山 福岡体育館	横山1234-1	1992(平成4年)	40
	29	津山 スポーツセンター 相撲場	勝部20-2	1992(平成4年)	なし
	30	阿波 ふるさとふれあい会館	阿波3309-1	1992(平成4年)	40
築20年～29年	31	津山 陸上競技場	志戸部245	1994(平成6年)	50
	32	久米 総合文化運動公園 プール	中北下1253	1995(平成7年)	25
	33	津山 グラスハウス	大田512	1998(平成10年)	40
	34	加茂 スポーツセンター 体操練習場	加茂町中原478-2	2000(平成12年)	60
	35	津山 西部公園 グラウンド	二宮420	2001(平成13年)	照明施設30
	36	津山 西部公園 テニス場	二宮420	2001(平成13年)	人工芝10
築19年以下	37	津山 東武道場	林田1514	2004(平成16年)	47
	38	勝北 ターゲットバードゴルフ場	市場2147-1	2005(平成17年)	なし
	39	勝北 中学校夜間照明施設	原371	2005(平成17年)	照明施設30
	40	津山 衆楽公園 弓道場	山北669	2011(平成23年)	40

I 現状

(3) 津山市全体の現状

○津山市全体の現状

津山市全体の現状を把握するため、利用者数、利用率、利用料収入、支出等について、平成26年度（5次総合計画策定時）、平成30年度（コロナ影響前）、令和4年度（直近）の3年分のデータを比較した。

令和4年度を平成26年度と比べた場合、利用者数は81%と大きく減少しているが、利用率は92%、利用料収入は101%となっている。

利用者数と利用率の関係については、相反する状況に見えるが、これは利用者（団体）の構成員の変化ととらえている。各団体の構成員は減少しているが、団体自体の活動は減っていないことから生じた現象と考えられる。

利用料収入の増加についてはプロスポーツ等（興行）の誘致に力を入れてきた結果と考えている。

令和4年度における地域別の利用料収入と支出額の比較では、すべての地域において、支出が利用料収入を上回っている。

利用者一人あたりの利用料収入及び支出額で比較した場合、津山市全体で見ると、利用料収入が125.4円/人に対して支出額が351.0円/人となっており、225.6円/人の赤字となっている。

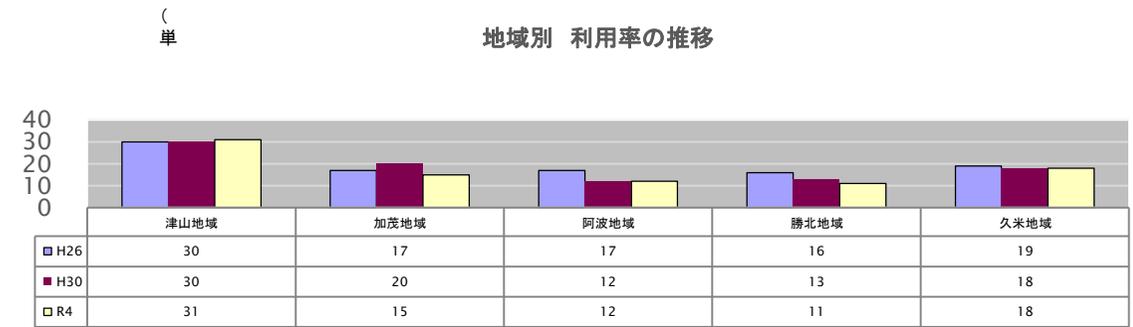
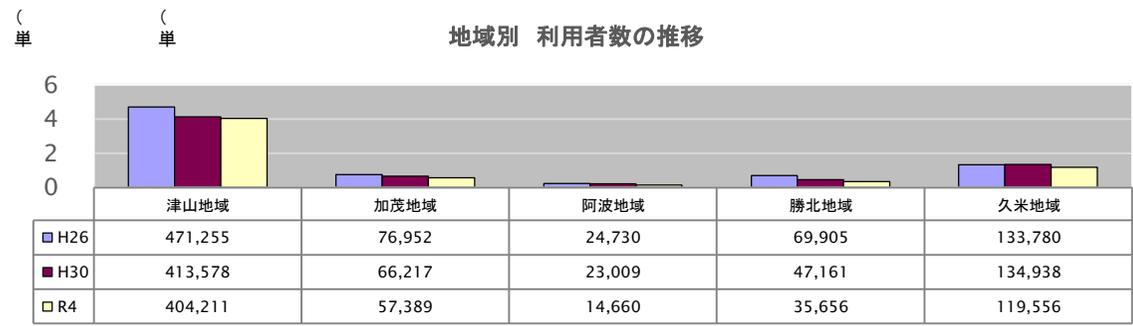
地域別に見ると津山地域は182.9円/人、加茂地域は278.9円/人、阿波地域は48.1円/人、勝北地域は491.4円/人、久米地域は281.7円/人の赤字となっている。公共施設という性格上仕方ない面もあるが、この赤字を削減する努力はしなければならない。

支出については、特に水道光熱費が高騰しており、コストカットが難しいため、別の対応を検討する必要がある。

- ・利用者数・
全体的に減少傾向にある。
- ・利用料収入・
加茂地域、阿波地域、勝北地域で減少傾向にある。
津山地域、久米地域で上昇傾向にある。
- ・利用率・
加茂地域、勝北地域は減少傾向にある。
津山地域、阿波地域、久米地域は、ほぼ横ばいの状況にある。
- ・収支・

勝北地域、加茂地域、津山地域、阿波地域、久米地域の順で1人あたりの収支の差が大きい。久米地域は、利用率は横ばいで、1人あたりの収入が多く、収支の差が少ない傾向にあり、津山市全体の中ではバランスがよい地域といえる。

また、津山地域では収支の差はあるものの、利用率は横ばいで、利用料はアップしており、今後も伸びる見込みがある。維持管理、運用面での課題を精査し改善することで、将来的にバランスのよい地域となり得る。

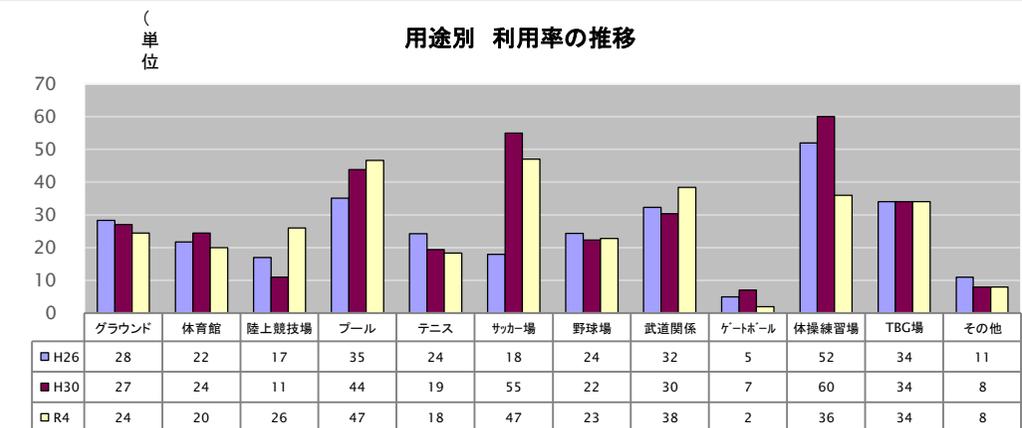
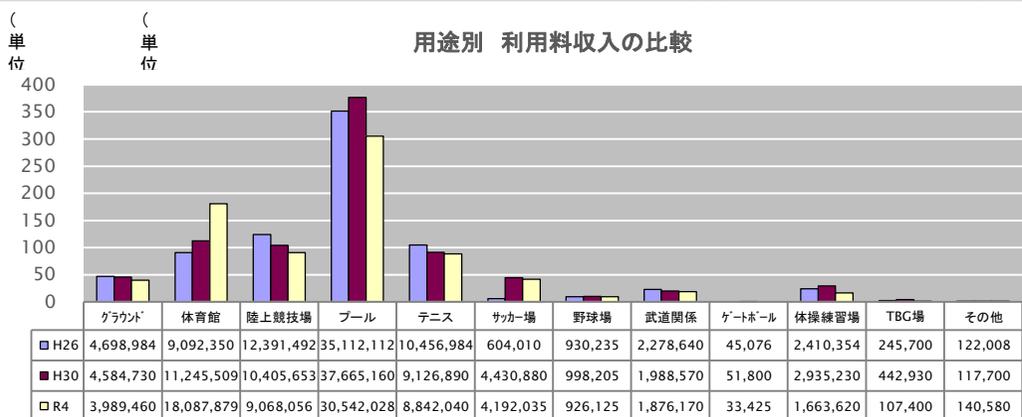
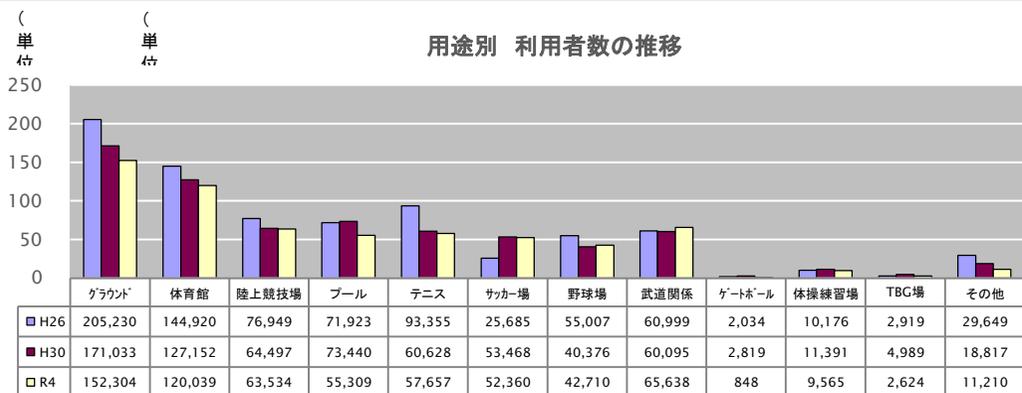


令和4年度 地域別 利用者一人あたりの利用料・支出額

区分	利用者数 (人)	利用率 (%)時間	利用料収入 (円)	支出額 (円)	利用料 (円/人)	支出額 (円/人)	収支 (円/人)
津山地域	404,211	31	41,756,650	115,701,442	103.3	286.2	-182.9
加茂地域	57,389	15	2,486,280	18,489,704	43.3	322.2	-278.9
阿波地域	14,660	12	47,100	752,057	3.2	51.3	-48.1
勝北地域	37,982	13	2,247,880	20,912,002	59.2	550.6	-491.4
久米地域	119,556	16	32,930,908	66,609,976	275.4	557.1	-281.7
合計	633,798	20	79,468,818	222,465,181	125.4	351.0	-225.6

I 現状

(4) 用途別の現状



令和4年度 用途別 利用者一人あたりの収支等

一人当たり	利用者数 (人)	利用率 (%)時間	利用料収入 (円)	支出額 (円)	利用料 円/人	支出額 円/人	収支 円/人
グラウンド	152,304	24	3,989,460	14,230,006	26.2	93.4	-67.2
体育館	120,039	20	18,087,879	45,101,112	150.7	375.7	-225
陸上競技場	63,534	26	9,068,056	55,613,717	142.7	875.3	-732.6
プール	55,309	47	30,542,028	59,017,831	552.2	1067.1	-514.9
テニス	57,657	18	8,842,040	9,950,335	153.4	172.6	-17.2
サッカー場	52,360	47	4,192,035	1,953,612	80.1	37.3	42.8
野球場	42,710	23	926,125	25,787,715	21.7	603.8	-582.1
武道関係	65,638	38	1,876,170	2,928,091	28.6	44.6	-16
ゲートボール	848	2	33,425	104,560	39.4	123.3	-83.9
体操練習場	9,565	36	1,663,620	6,101,602	173.9	637.9	-464.0
TBG場	2,624	34	107,400	1,045,600	40.9	398.5	-357.6
その他	11,210	8	140,580	631,000	12.5	56.3	-43.8
合計	633,798	20	79,468,818	222,465,181	125.4	351.0	-225.6

○用途別施設の現状

利用者数はどの年度においても多目的に利用できるグラウンド・体育館がよく利用されている傾向にある。グラウンド・体育館の利用が、利用者数全体の40%以上を占めている。

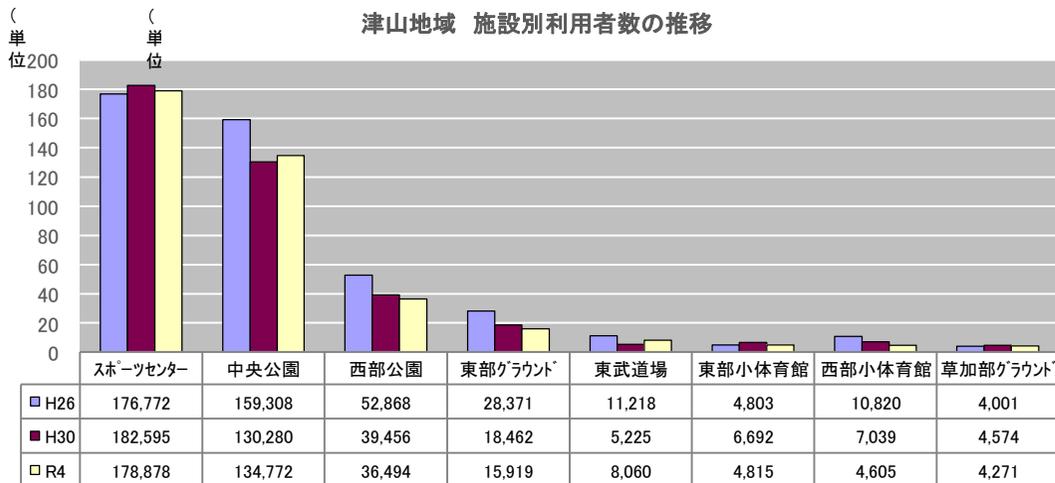
利用料収入は体育館・陸上競技場・プールなどの大型施設が全体の約7割を占めているが、一方で支出も大きく、利用者一人当たりの利用料と支出額の差が大きい施設となっている。

利用率や収支の面で、屋外施設ではサッカー場、グラウンド、テニスコート等、屋内施設では武道場、体操練習場が一人当たりの赤字が150円を下回っており比較的バランスがとれた施設となっている。

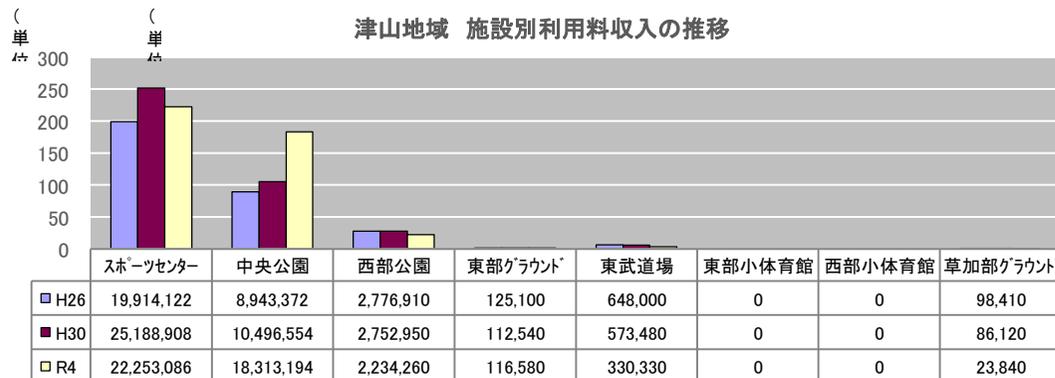
- 利用者数
グラウンド、体育館利用者が圧倒的に多い(全体の43%を占める)。次いで武道関係、陸上競技場、テニス、サッカー場の順となっている。
- 利用料収入
プール、体育館は年々上昇傾向にある。次いで競技場、テニス、サッカー場、グラウンドの順となっている。
- 利用率
横ばい、もしくは減少しているが、競技場、プール、武道関係が増えている。
- 収支
競技場・野球場は1人あたりの収支の差が大となっている。グラウンド、テニス、サッカー、武道関係は収支の差が少なく比較的収支バランスがとれた施設といえる。

(5) 津山地域の現状

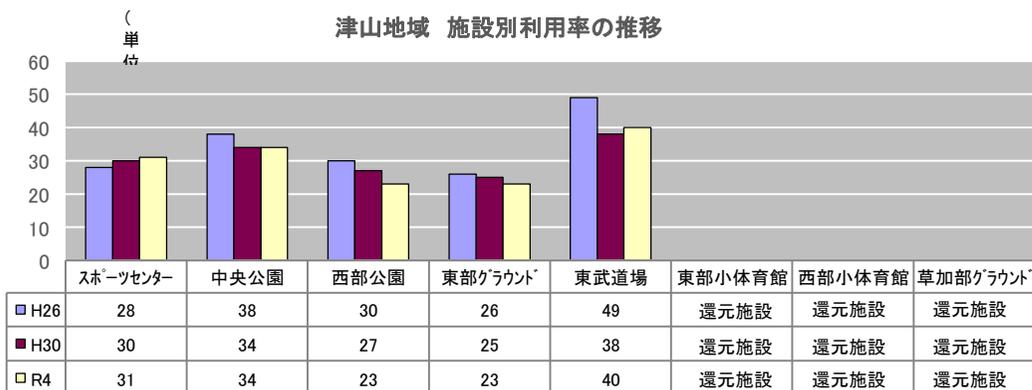
津山地域 施設別利用者数の推移



津山地域 施設別利用料収入の推移



津山地域 施設別利用率の推移



令和4年度 津山地域の利用者一人あたりの収支等

区分	利用者数 (人)	利用率 (%)時間	利用料収入 (円)	支出額 (円)	利用料 (円/人)	支出額 (円/人)	収支 (円/人)
合計 詳細次ページ	404,211	31	41,756,650	115,701,442	103.3	286.2	-182.9

○津山地域の現状

利用者数は、どの年度においても多目的に利用できるスポーツセンター、中央公園が多く約5割を占めている。

利用料ではスポーツセンターと中央公園が全体の約7割を占めているが、一方で支出も大きく、利用者一人当たりの利用料と支出額の差が大きい施設となっている。利用率はどの年度においても多目的に利用できる。グラウンド・体育館が30%を超えており、よく利用されている傾向にある。

利用料収入は体育館・陸上競技場・プールなどの大型施設が全体の約7割を占めているが、一方で支出も大きく、利用者一人当たりの利用料と支出額の差が大きい施設となっている。

収支では体育館、テニス、サッカー、体操練習場は、一人当たりの赤字が150円を下回っており比較的バランスのとれた施設となっている。

- ・利用者数・
 - 年々利用者数は減少傾向にある。
 - 利用の多い順：総合体育館、陸上競技場、サッカー場、中央公園、西部公園、テニスコート
- ・利用料収入・
 - 多い順：総合体育館、陸上競技場、テニスコート、サッカー場、西部公園、中央公園、東体育館
- ・利用率・
 - 利用人数が減少していても利用率を見ると差が少なく横ばいになっている施設が多い。
 - 近年、1団体・1件当たりの利用者数（構成人数）が減少していることが大きく影響している。
- ・収支・
 - 1人あたりの収支では、テニスコート、弓道場、サッカー場、中央公園グラウンド、東武道場が収支バラ
 - ンスのよい施設といえる。
 - 陸上競技場、野球場、体育館は収支の差が大きく、課題が残る。
 - 利用料収入の多い施設でも、支出の多い陸上競技場や総合体育館は1人あたりの差額が大きくなる傾向がある。特に規模の大きい施設では維持管理コストがかさみ、財政面での課題も多いものの、収支や利用率等を見ながら、維持管理・運用面での見直しの可能性の有無を図ることが必須となる。

(5) 津山地域の現状 (詳細)

令和4年度 中央公園 利用者一人あたりの収支等

区分	利用者数 (人)	利用率 (%)時間	利用料収入 (円)	支出額 (円)	利用料 (円/人)	支出額 (円/人)	収支 (円/人)
中央公園 グラウンド	39,074	38	1,279,180	138,750	32.7	3.6	29.2
弓道場	7,982	24	503,990	92,500	63.1	11.6	51.5
総合体育館	87,716	33	16,530,024	27,369,078	188.4	312.0	-123.6
合 計	134,772	34	18,313,194	27,600,328	135.9	204.8	-68.9

令和4年度 スポーツセンター 利用者一人あたりの収支等

区分	利用者数 (人)	利用率 (%)時間	利用料収入 (円)	支出額 (円)	利用料 (円/人)	支出額 (円/人)	収支 (円/人)
野球場	13,594	26	496,310	8,791,254	36.5	646.7	-610.2
サッカー場	52,360	47	4,192,035	1,953,612	80.1	37.3	42.8
テニスコート	34,437	28	5,692,490	1,953,612	165.3	56.7	108.6
小野球場	14,953	26	56,295	6,837,642	3.8	457.3	-453.5
陸上競技場	63,534	28	9,068,056	55,613,717	142.7	875.3	-732.6
合 計	178,878	31	19,505,186	75,149,837	109.0	420.1	-311.1

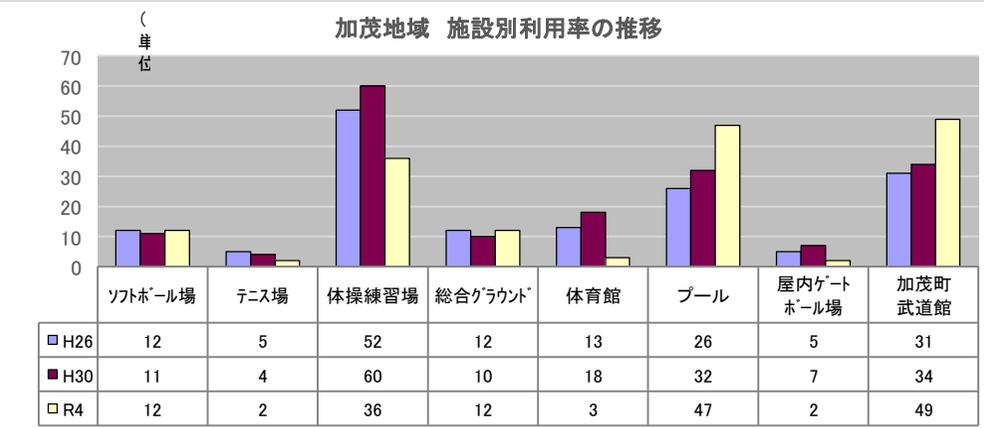
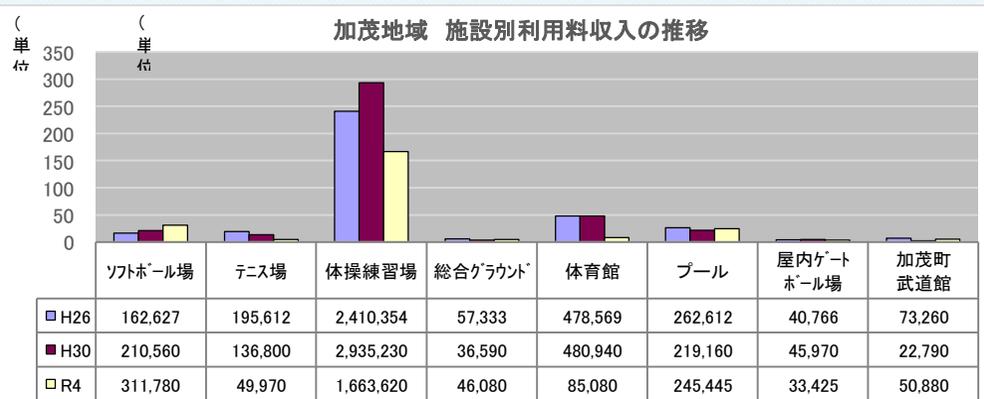
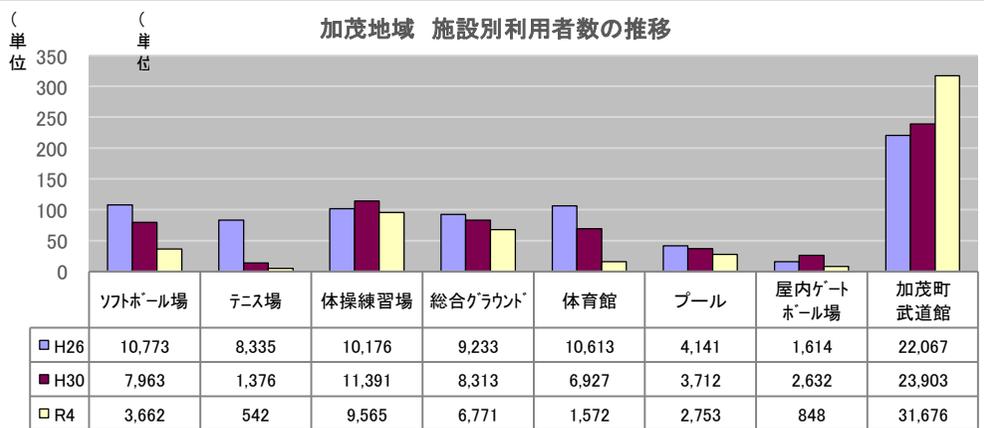
令和4年度 その他の施設 利用者一人あたりの収支等

区分	利用者数 (人)	利用率 (%)時間	利用料収入 (円)	支出額 (円)	利用料 (円/人)	支出額 (円/人)	収支 (円/人)
西部公園	36,494	23	2,234,260	3,798,316	61.2	104.1	-42.9
東部グラウンド	15,919	23	116,580	47,012	7.3	3.0	4.4
東武道場	8,060	40	330,330	180,167	41.0	22.4	18.6
東部小体育館	4,815	還元施設	0	1,761,078	0.0	365.7	-365.7
西部小体育館	4,605	還元施設	0	1,973,421	0.0	428.5	-428.5
草加部グラウンド	4,271	還元施設	23,840	0	5.6	0.0	5.6
東体育館	8,587	36	1,233,260	4,915,791	143.6	572.5	-428.8
福岡体育館	7,810	還元施設	0	275,491	0.0	35.3	-35.3
合 計	90,561		3,938,270	12,951,276	43.5	143.0	-99.5

令和4年度 津山地域 利用者一人あたりの収支等

区分	利用者数 (人)	利用率 (%)時間	利用料収入 (円)	支出額(円)	利用料 (円/人)	支出額 (円/人)	収支 (円/人)
合 計	404,211	31	41,756,650	115,701,442	103.3	286.2	-182.9

(6) 加茂地域の現状



令和4年度 加茂地域 利用者一人あたりの収支等

区分	利用者数 (人)	利用率 (%)時間	利用料収入 (円)	支出額 (円)	利用料 (円/人)	支出額 (円/人)	収支 (円/人)
ソフトボール場	3,662	12	311,780	1,664,073	85.1	454.1	-369.3
テニス場	542	2	49,970	369,794	92.2	682.3	-590.1
体操練習場	9,565	36	1,663,620	6,101,602	173.9	637.9	-464.0
総合グラウンド	6,771	12	46,080	1,479,176	6.8	218.5	-211.7
体育館	1,572	3	85,080	6,101,602	54.1	2,352.4	-2298.3
プール	2,753	47	245,445	2,033,867	89.2	738.8	-649.6
屋内ゲートボール場	848	2	33,425	0	39.4	0	39.4
加茂町武道館	31,676	49	50,880	739,588	1.6	23.3	-21.7
合計	57,389	15	2,486,280	18,489,704	43.3	322.2	-278.9

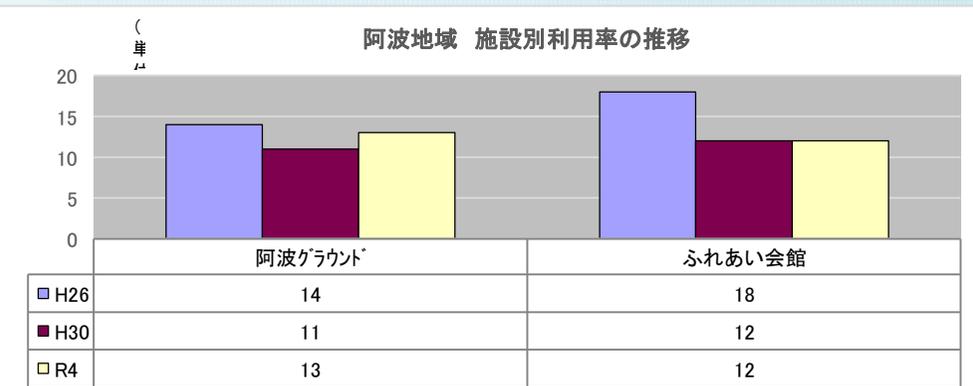
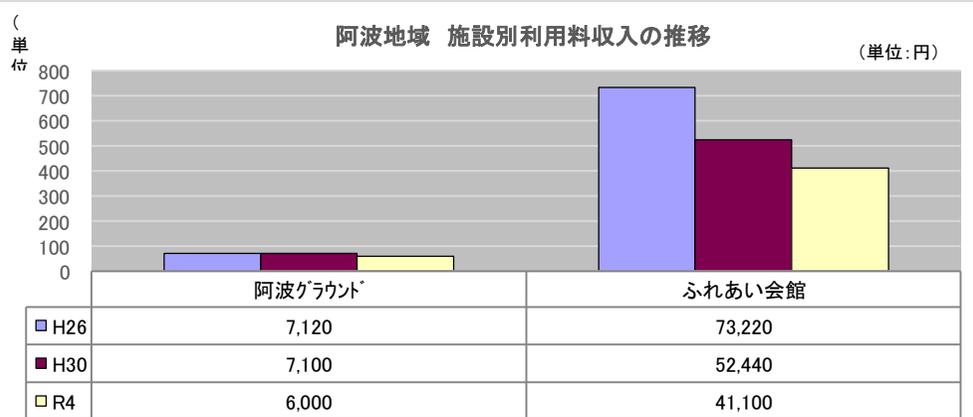
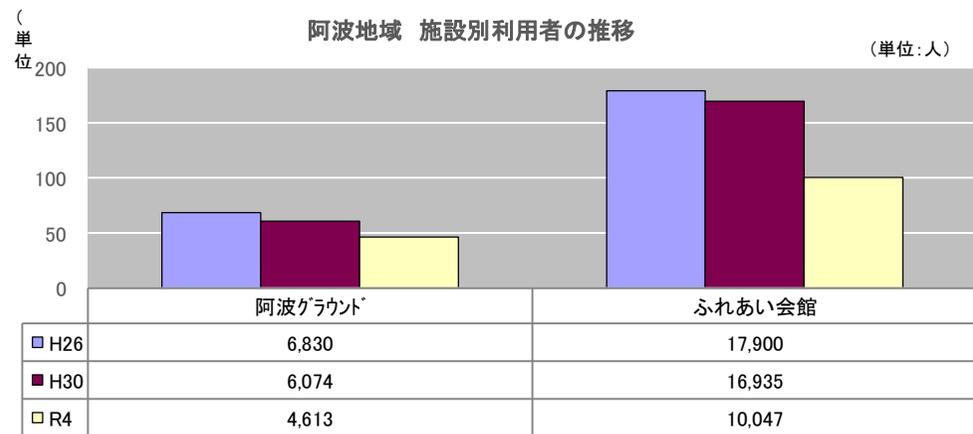
○加茂地域の現状

加茂地域は、武道館が中学校・スポーツ少年団等の剣道・柔道等により利用者数が多い。体操練習場は、域外からの高校生・大学生等の合宿等により多くの利用と安定した利用料となっていたが、空調設備がないことと近年の猛暑が理由で合宿の件数が減少傾向にある。また、テニス場はスクール利用がなくなったため利用者数が激減している。

利用者一人当たりの利用料では、体操練習場が全市内施設の中で1番多く、一人当たりの支出額も上回っている。半面、武道館・屋内ゲートボール場・ソフトボール場は、減免をしている団体が多いため、一人当たりの支出額が利用料を大きく上回っている。

- ・利用者数・
表のとおり減少している施設が多く見受けられるが、武道館は上昇している。
- ・利用料収入・
減少している施設もあればソフトボール場・プール・武道館は上昇している。
- ・利用率・
利用者が減少していても利用率で見るとソフトボール場、総合グラウンドは横ばい、プール、武道館が上昇傾向にある。
- ・収支・
利用料収入と支出との差額が大きい施設が多く、全体的に赤字となっている。維持管理コスト等の支出が高く収入は少ないものの、プールや武道館のように利用率が増え今後も利用が見込める施設もある。

(7) 阿波地域の現状



令和4年度 阿波地域 利用者一人あたりの収支等

区分	利用者数 (人)	利用率 (%時間)	利用料収入 (円)	支出額 (円)	利用料 (円/人)	支出額 (円/人)	収支 (円/人)
阿波グラウンド	4,613	13	6,000	225,617	1.3	48.9	-47.6
ふれあい会館	10,047	12	41,100	526,440	4.1	52.4	-48.3
合計	14,660	12	47,100	752,057	3.2	51.3	-48.1

○阿波地域の現状

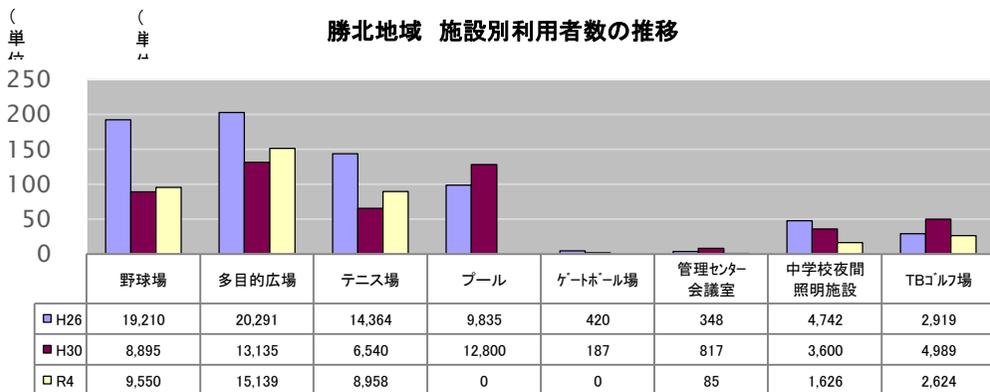
阿波地域は、阿波グラウンドの主な利用は消防団、市民野球であり、ふれあい会館はゲートボール・グラウンドゴルフが主な利用者となっている。また、地域でのイベント等にも利用がされており、一人当たりの利用料・支出額が少ないが、地域住民により活用されている。

- ・利用者数・
減少傾向にある。
- ・利用料収入・
減少している。
- ・利用率・
阿波グラウンドは、利用者数が減少しているが、利用率としては上昇している。ふれあい会館は、利用者は減少しているものの、利用率は横ばいである。
- ・収支・
利用料収入が少ないが、支出も少ないため、収支で見ると差額が少なくなっている。

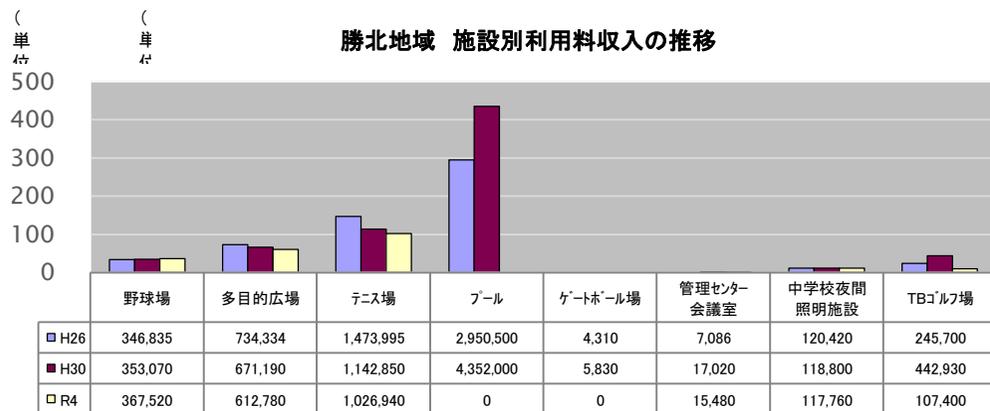
I 現状

(8) 勝北地域の現状

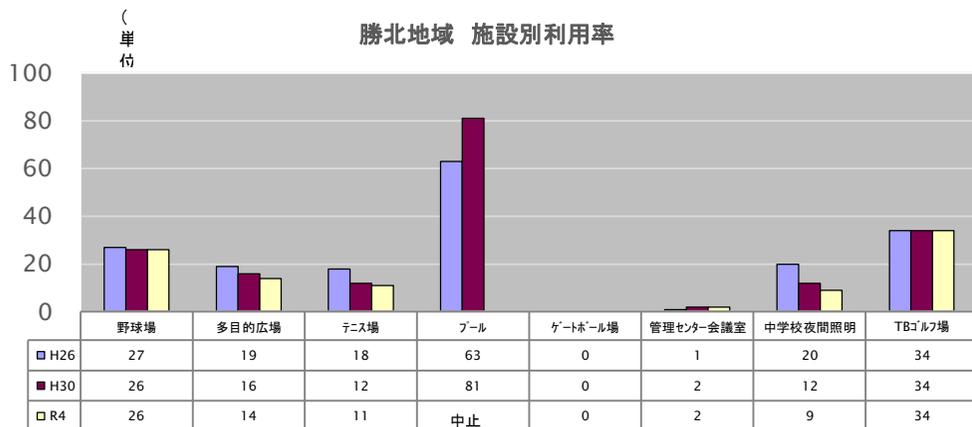
勝北地域 施設別利用者数の推移



勝北地域 施設別利用料収入の推移



勝北地域 施設別利用率



令和4年度 勝北地域 利用者一人あたりの収支等

区分	利用者数 (円)	利用率 (%) 時間	利用料収入 (円)	支出額 (円)	利用料 (円/人)	支出額 (円/人)	収支 (円/人)
野球場	9,550	26	367,520	9,933,201	38.5	1040.1	-1001.6
多目的広場	15,139	14	612,780	5,437,121	40.5	359.1	-318.7
テニスコート	8,958	11	1,026,940	4,182,400	114.6	466.9	-352.3
プール	0	中止	0	0	0	0	0
ゲートホール場	0	0	0	104,560	0	0	0
管理センター会議室	85	2	15,480	104,560	182.1	1230.1	-1048
中学校夜間照明施設	1,626	9	117,760	104,560	72.4	64.3	8.1
TBゴルフ場	2,624	34	107,400	1,045,600	40.9	398.5	-357.6
合計	37,982	13	2,247,880	20,912,002	59.2	550.6	-491.4

○勝北地域の現状

野球場、テニスコート、TBゴルフ場は県内外からの利用があり、多目的広場はスポーツ・防災等の多目的・多用途に利用されている。野球場、多目的広場、テニスコートはH26に比較してH30の利用者数は減少したが、R4はH30に比較して利用者が微増している。

- ・利用者数・
野球場、多目的、テニスコートともにコロナ前より減少したものの利用が増えてきている。
- ・利用料収入・
減少している。
- ・利用率・
横ばい、または低迷している。
- ・収支・
利用料に対し、支出額が多く、1人当たりの収支は赤字となっている。支出額が多い要因として、上記スポーツ施設以外の公園周辺の樹木管理などの経費を含んでいるためである。
評価・課題として、維持管理・運用面での改善・計画が急務な施設である。

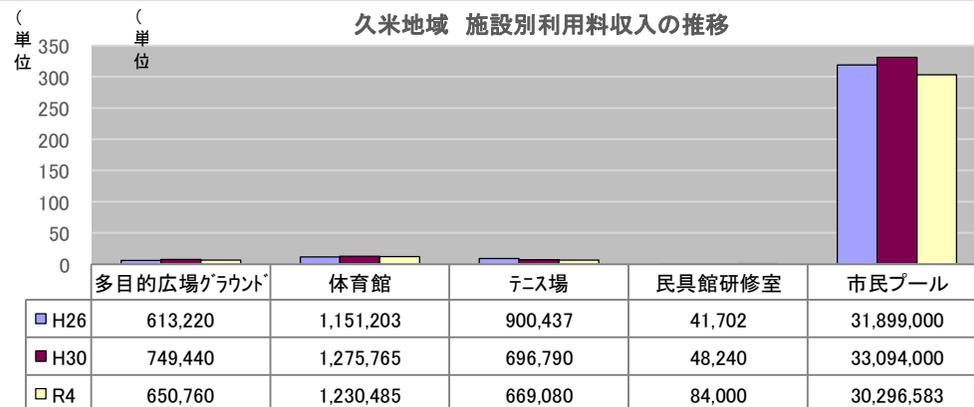
I 現状

(9) 久米地域の現状

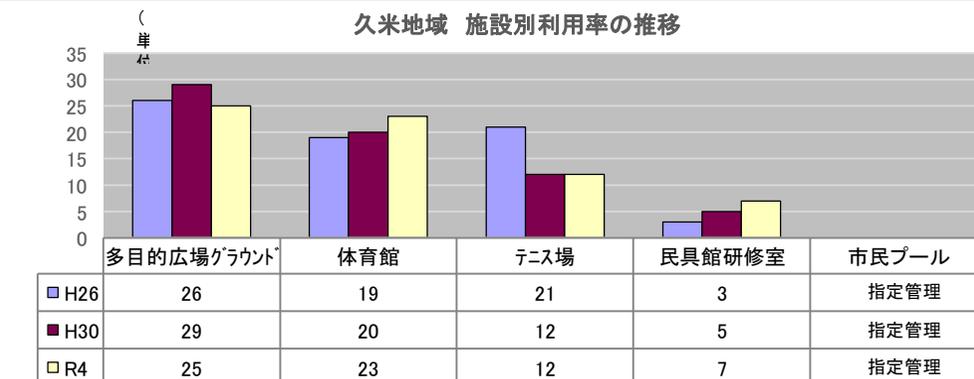
久米地域 施設別利用者の推移



久米地域 施設別利用料収入の推移



久米地域 施設別利用率の推移



令和4年度 久米地域 利用者一人あたりの収支等

区分	利用者数(人)	利用率(%)時間	利用料収入(円)	支出額(円)	利用料(円/人)	支出額(円/人)	収支(円/人)	備考
多目的グラウンド	36,853	25	650,760	3,080,324	17.7	83.6	-65.9	
体育館	22,854	23	1,230,485	4,620,486	53.8	202.1	-148.3	
テニスコート	6,215	12	669,080	1,925,202	107.7	309.8	-202.1	
民具館研修室	1,078	7	84,000	0	77.9	0.0	82.5	
合計	67,000	16	2,634,325	9,626,012	39.3	143.7	-104.4	
市民プール	52,556	指定管理	30,296,583	56,983,964	576.5	1084.3	-507.8	指定管理者の収支

○久米地域の現状

久米地域は、多目的グラウンド・体育館ともに利用者数が多く、旧市内西部地域からも利用者が多くある。

利用者一人当たりの利用料ではテニスコートが多く、利用者一人当たりの支出額も上回っているが、多目的グラウンド、体育館は減免をしている団体が多いため、一人当たりの支出額が利用料を大きく上回っている。

市民プールは指定管理者制度により委託を行っており、利用者・利用料ともに安定しているが、他の施設に対して比べると支出額が利用料を大きく上回っているといった課題がある。

- ・利用者数・
減少傾向にある。
- ・利用収入・
横ばい、または上昇傾向にある。
- ・利用率・
利用人数は減っているものの、体育館・民具館研修室は横ばい、体育館は上昇傾向にある。
- ・支出・
光熱水費等の維持管理費が多く、テニスコートを除けば比較的少ない赤字額で収まっている。
利用率が横ばい、または、上昇している施設もあることから、今後、収支が改善される見込みがある。

(1) 全体的な課題

本市のスポーツ施設は、合併前の旧市町村体制において、それぞれの施策により設置されているため、類似施設も多く存在している。今後のあり方について検討する場合、**施設毎の競技特性や地域色を見出す必要がある**。地域の核となるスポーツ施設にはその特色を活かし、多くの市民に利用していただけるよう施設・設備の強化等を行う必要がある。

多くの市民が利用するようになること（利用率の向上）は、市民の健康水準や競技力といった本来の目的に大きく影響することに加えて、施設運営の収支にもかかわってくる。**今後、利用率向上に向けた取組みを行う必要がある**。合わせて、利用率や利用者の極端に低い施設については、集約等を検討する必要もある。

また、人口減少に伴い利用者が減少すると想定される中、利用率を上げるためには、**市外の利用者を獲得できるような事業についても検討する必要がある**。検討にあたっては災害対応、学校連携等も考慮する必要がある。

(2) 評価手法

スポーツ施設の評価手法として、利用者数に重きを置いた評価を行ってきたが、少子高齢化・人口減少などで利用者が減少する中、利用者数だけではなく、**利用率も含めた評価を行う必要がある**。

(3) 施設老朽化への対応

本市のスポーツ施設は、建設後40年以上経過したものが多く、老朽化が進行しており、早急な対応が必要となっている。しかし、スポーツ施設は比較的規模が大きなものが多いため、安全・安心なスポーツ活動の場を提供すると同時に、長期的な施設の維持管理を図るためには、多額の予算が必要となるため、**有利な財源を確保する必要がある**。

(4) 財政負担の抑制

空き施設（利用の少ない施設）を有効活用し、利用率を上げることで利用料収入を増加させる必要もあるが、**プロスポーツ等の興行などによる収入増も積極的に行う必要がある**。

利用料（減免規定）の改定を行う必要もある。

Ⅲスポーツ施設のあり方

(1) 基本的な考え方

①今後の施設運営

市内スポーツ施設を、基幹施設、現状維持施設、集約統廃合等検討施設、地域特性スポーツ施設の区分に選定し、いずれも以下の3項目に準じた施設運営を行う。

- 1) 空き施設・時間を有効活用し利用率を上げる。全体目標として現在の22%から**30%以上**を目指す。
- 2) 利用率を増加（利用料収入増）させることで赤字を削減する。全体目標として収支赤字を現在の225円/人から**165円/人**に削減することを目指す。
- 3) 今後も総合計画や推進計画の策定年度などに合わせ、定期的に評価を更新し、施設選定の見直しを行う。

②全体事項

- 1) 各地域のグラウンドや体育館等の多くの方が多目的で利用されている施設、または大規模災害時の重要な避難場所として大きな役割がある施設については、継続運営するものとする。
- 2) 施設ごとの**競技特性に着目し、地域特性を有する施設を選定する**。また、人口減少に伴い利用者が減少すると想定される中、市外・県外からの利用により利用率を上げることができ、**交流人口の増加や地域貢献（大会・合宿・プロスポーツ誘致）に資する施設を選定する**。
- 4) 利用率、利用者数、収支、学校連携、財源の有無等を参考にし、現状を維持する施設や集約等を検討する施設を選定する。

※利用率は、現行の施設予約システムに登録してある各施設のデータを利用して算出した。施設予約システムを利用していない施設については算出していない。また、指定管理や業務委託の場合も、各々の事業者で利用に対する取り組みを行っているため、算出していない。

利用率 = (1年間の利用時間実績データ) ÷ (システムに登録してある1週間の利用可能時間から1年間利用可能時間を計算したもの)

※利用者1人当たりの収支は (各施設の年間利用料収入) - (各施設の年間経常支出) ÷ (各施設の年間利用者数) で計算した。

③基幹施設

②全体事項の1) を満たす施設を基幹施設とする。

※基幹施設については現在の場所において継続運営するものとする。

※基幹施設については利用率、利用者数、収支、財源の有無等にかかわらず機能を維持するための修繕等を検討する。

Ⅲスポーツ施設のあり方

(1) 基本的な考え方

④現状維持施設

以下の1) 2) のいずれも満たした場合、現状維持施設とする。

1) 令和4年度利用率が平成26年度利用率より**80%**以上のもの。

(例 R4の利用率が17% : H26の利用率が20% $\Rightarrow 20\% \times 0.8 = 16\% \leq 17\% =$ 現状維持施設)

2) 令和4年度利用者数が平成26年度利用者数より**60%**以上のもの。

(例 R4の利用者が700人 : H26の利用者が1,000人 $\Rightarrow 1,000人 \times 0.6 = 600人 \leq 700人 =$ 現状維持施設)

3) 例外として、他の理由(県有施設・学校連携施設・企業立地関連等)で設置されているものや、令和4年度のみ特別な事情(改修等により長期間利用不可など)がある場合は現状維持施設とする。

※1) の基準値**80%**はH26とR4を比較した全体利用率の減少率(92%)とR4と2050の想定減少率(90%)を基に算出。

※2) の基準値**60%**はH26とR4を比較した全体使用者数の減少率(81%)とR4と2050の想定人口減少率(79%)を基に算出。

※現状維持施設については機能を維持するための修繕等を検討する。

※現状維持施設については修繕等に多額の費用を有する場合、有利な財源を確保する。

⑤集約統廃合等検討施設

③基幹施設、④現状維持施設及び⑥地域特性スポーツ施設の要件を満たさない場合、集約統廃合等(集約・廃止・用途変更・移管・払下など)施設とする。集約統廃合等検討施設に選定された施設について、運営が改善し④現状維持施設の要件を満たした場合は、現状維持施設に変更する。

今後、以下の条件のいずれかに該当した場合、集約統廃合等を実施する。

1) 他の理由(計画や方針等)で対応が決定しているもの。

2) 大規模改修が必要となった場合。

3) 1) 2) 以外の施設については、今後適切な時期において実施する。

※集約統廃合等検討施設については軽微な修繕以外は行わない。

Ⅲスポーツ施設のあり方

(1) 基本的な考え方

⑥地域特性スポーツ施設

①全体事項の2)を満たす施設を地域特性スポーツ施設とする。施設を選定する際は基幹施設、現状維持施設、集約統廃合等検討施設など全ての施設を対象とし、下記要件のいずれかを満たす施設を選定する。

- 1) 競技特性を有する施設。
(競技性が高く、利用者の満足度が得られる施設)
- 2) 交流人口の増加が期待される施設。
(大会・合宿誘致等による利用率の向上が期待される施設)
- 3) 地域貢献事業等の地域振興に資する事業が期待される施設。
(プロスポーツ誘致等による住民満足度の向上が期待される施設)

※地域特性スポーツ施設は大会・合宿・プロスポーツ誘致等のソフト事業強化の対象とする。

※地域特性スポーツ施設は機能維持のほか、機能強化の対象とする。

Ⅲスポーツ施設のあり方

(2) 津山地域(中央公園) R4人口81,898人 過去4年間人口減少率△2.7% 2050年予想人口64,354人△21.42%

施設名	課題	施設種別	審議会意見
中央グラウンド	利用率・利用者数は減少傾向にあるが、依然として高い水準にある。 収支は良好である。 排水がしにくくなっており、土の入れ替えや、電気設備の更新が必要となっている。	基幹施設	
弓道場	利用率は増加傾向にある。 利用者数は減少傾向にある。 施設の性質上利用者が限られる。 収支は良好である。	現状維持	
総合体育館	利用率は増加傾向にある。利用者数は横這い、収支は良好である。 剣道場は利用率・利用者数ともに減少しており集約統廃合等検討施設の対象。 県有施設のため機能を落とさぬよう整備する必要がある。また、プロリーグ等(バスケット、バレー、卓球)の利用による収益性が見込めるため、高規格化の検討も必要と考えられる。	基幹施設 県有施設	

Ⅲスポーツ施設のあり方

(2) 津山地域(スポーツセンター)R4人口81,898人 過去4年間人口減少率△2.7% 2050年予想人口64,354人△21.42%

施設名	課題	施設種別	審議会意見
野球場	利用率は増加傾向にある。 利用者数は横ばいとなっている。 芝管理等に多大な費用がかかるため収支は良くない。 老朽化が激しく早急に改修等が必要。 両翼が狭く、選手・観客導線が悪いなどの問題があり、大きな大会が誘致できない。	現状維持	
サッカー場	利用率・利用者数は高い水準にあり、収支も良好である。利用率が高すぎるため合宿利用等ができない。人工芝の痛みが激しく早急な改修等が必要。	現状維持	
テニスコート	利用率・利用者数は減少傾向にあるが、依然として高い水準にある。収支は良好である。 人工芝も令和2年に張り替えており当面問題ないとする。	現状維持	
小野球場	利用率が減少傾向にある。利用者数は横ばいで、収支は良くない。 利用制限(少年野球・ソフトの練習のみ)をかけており利用率や利用人数に影響している。	現状維持	
陸上競技場	利用率・利用者数ともに減少傾向にある。 芝管理等に多大な費用がかかるため収支は良くない。 プロリーグ等(サッカー)に対応した高規格化を検討する必要がある。	基幹施設 県有施設	

Ⅲスポーツ施設のあり方

(2) 津山地域(その他) R4人口81,898人 過去4年間人口減少率△2.7% **2050年予想人口64,354人△21.42%**

施設名	課題	施設種別	審議会意見
西部公園	利用率・利用者数ともに減少傾向にある。収支は良好である。 グラウンドは現状維持だが、テニスコートは集約統廃合等検討施設の対象。人工芝の痛みが激しく早急な改修等が必要。	現状維持	
東部グラウンド	利用率は横ばい。利用者数は減少している。収支は良好である。	現状維持	
東武道場	剣道場は利用率・利用者数ともに増加傾向にある。 柔道場は利用率・利用者数ともに減少傾向にあり、集約統廃合等検討施設の対象。	現状維持 県共同管理	
東部小体育館	企業立地等による設置という過去の経過があり現状の変更は難しい。	現状維持 還元施設	
西部小体育館	企業立地等による設置という過去の経過があり現状の変更は難しい。	現状維持 還元施設	
草加部グラウンド	企業立地等による設置という過去の経過があり現状の変更は難しい。	現状維持 還元施設	
東体育館	利用率は横ばい。利用者数は減少している。収支は概ね良好である。 老朽化に対応する必要がある。	現状維持 県有施設	

Ⅲスポーツ施設のあり方

(3) 加茂地域 R4人口3,760人 過去4年間人口減少率△10.39% 2050年予想人口2,955人△21.42%

施設名	課題	施設種別	審議会意見
ソフトボール場	利用率は横ばいだが、利用者数は減少している。収支は良くない。 ソフトボール場としてのポテンシャルは高い。	基幹施設	
総合グラウンド (野球場)	利用率は横ばいだが、利用者数は減少している。収支は良くない。 国体等で利用した野球場でもあり、ポテンシャルは高い。	基幹施設	
体育館	利用率・利用者数はともに減少している。 収支は良くない。 集約統廃合等検討施設の対象。 B&G財団からの補助を受けている。 R4は大規模改修を行っており、その影響を受けている。	基幹施設	
テニス場	利用率・利用者数はともに減少している。 収支は良くない。	集約統廃合等検討	

Ⅲスポーツ施設のあり方

(3) 加茂地域 R4人口3,760人 過去4年間人口減少率△10.39% **2050年予想人口2,955△21.42%**

施設名	課題	施設種別	審議会意見
体操練習場	利用率は減少しているが、利用者数は横ばい。収支は良くない。 市外・県外からの合宿等での利用がある。 空調設備がないため夏場の利用が減少していることが利用率低下の原因と考えられる。	現状維持	
プール	利用率は増加しているが、利用者数は減少している。収支は良くない。 プールの特性として経常経費が多くかかっている。B&G財団からの補助を受けている。	現状維持 学校連携	
屋内ゲートボール場	利用率・利用者数ともに減少している。 収支は良好である。 集約統廃合等検討施設の対象。	集約統廃合等検討	
加茂町武道館	利用率・利用者数はともに増加している。 収支は良好である。 学校連携によるものとする。	現状維持 学校連携	

Ⅲスポーツ施設のあり方

(4) 阿波地域 R4人口439人 過去4年間人口減少率△12.89% 2050年予想人口345人△21.42%

施設名	課題	施設種別	審議会意見
阿波グラウンド	利用率は横ばいだが、利用者数は減少している。 収支は良好である。 利用者は限定されている。	基幹施設	
ふれあい会館 (屋内グラウンドゴルフ場)	利用率・利用者数ともに減少している。 収支は良好である 目的外利用が多い。	集約統廃合等検討	

Ⅲスポーツ施設のあり方

(5) 勝北地域 R4人口5,859人 過去4年間人口減少率△5.11% 2050年予想人口4,604人△21.42%

施設名	課題	施設種別	審議会意見
野球場	利用率は横ばいだが、利用者数が減少している。収支は良くない。 国体等で利用した野球場でもあり、ポテンシャルは高い。 老朽化が激しく早急に改修等が必要。	基幹施設	
多目的広場	利用率・利用者数ともに減少している。 収支は良くない。 利用制限をかけており、利用率や利用者数に影響している。	現状維持	
テニス場	利用率・利用者数ともに減少している。 収支は良くない。 人工芝の傷みが激しく、早急な改修等が必要。	現状維持	
プール	老朽化のため大規模改修が必要。 プールとして維持が困難なため、当面の間休止。	集約統廃合等検討	
ゲートボール場	利用者がほぼいない。	集約統廃合等検討	

Ⅲスポーツ施設のあり方

(5) 勝北地域 R4人口5,859人 過去4年間人口減少率△5.11% 2050年予想人口4,604人△21.42%

施設名	課題	施設種別	審議会意見
管理センター会議室	利用率は横ばい。利用者数は減少している。 収支は良好である。 利用者数は少なく限定されている。	現状維持	
中学校夜間照明施設	利用率・利用者数はともに減少している。 収支は良くない。利用状況としては集約統廃合等検討施設の対象。放課後中学校のグラウンドを社会体育施設として利用するため設置。	現状維持 学校連携	
ターゲットバードゴルフ場	利用率・利用者数ともに横ばいだが、収支は良好である。 利用者は限定されている。	現状維持	

Ⅲスポーツ施設のあり方

(6) 久米地域 R4人口6,229人 過去4年間人口減少率△4.85% 2050年予想人口4,895人△21.42%

施設名	課題	施設種別	審議会意見
多目的グラウンド	利用率は横ばい、利用者数は増加している。 収支は良好である。利用者数・収支バランスともに良好である。	基幹施設	
体育館	利用率は増加しているが、利用者数は減少している。収支は良くない。 老朽化が激しく、早急な対応が必要。	基幹施設	
テニス場	利用率・利用者数ともに減少している。 収支は良くない。 人工芝の傷みが激しく、早急な改修等が必要。	現状維持	
民具館研修室	利用率・利用者数ともに増加している。 収支は良い。 利用者は限定されている。	現状維持	
市民プール	指定管理で運営を行っている。 利用者数は50,000人以上と非常に多い。 施設の老朽化が激しく応急修繕では対応できず、建替えを検討する必要がある。	現状維持 指定管理	